

Memorial Concert for the 25th Anniversary  
of  
Japanese Society for Contemporary Music

日本現代音楽協会

25周年記念立奏会  
日本現代音楽協会

12月6日(火)

12月12日(月)

12月17日(土)

午後 6時30分

山葉ホール

主催

日本現代音楽協会



# 日本現代音楽協会小史

本会は最初新興作曲家聯盟と称し昭和5年4月28日左の声明書を発して発足した。

## 『声明書』

- 一、日本作曲家の同志を以て会員とす
- 一、会員は協力団結して新興音楽の発達を期す
- 一、実行方法として次の音楽会を開催す 作品試演会 作品発表会
- 一、会員は試演会及発表会に作品を提供し又出席す
- 一、批評家及演奏家は試演会を試聴せられて作品の発表及向上に対して力を添へられむことを望む。

実行委員（イロハ順）として伊藤昇、池譲、石井五郎、（故）橋本國彦、笈田光吉、山本直忠、松平頼則、○（故）小松平五郎、小松清、（故）近藤相次郎、斎藤秀雄、清瀬保二、○箕作秋吉、菅原明朝、（故）鈴木二三雄、（故）塩入龜輔（○印は発起人）

以上16名の実行委員中、当時の音楽世界（現在の音楽之友社の前身）の編集者塩入氏をのぞいた15名の作曲者中、橋本氏のみ音楽学校しかもヴァイオリン科出身であり、他は夫々出身や音楽コースが異つてゐる。このことは当時のわが純作曲界の情勢を端的に反映して興味あることである。前年主に教育音楽関係者によつて設立された大日本作曲家協会と対称的な感があり、歴史的スタートを切つたといへる。

昭和5年6月10日、初めて作品試演会が行はれ、また同年9月24日39分間12人の作品がJ O A Kから初放送された。まるで小学生の学芸会的珍風景であつた。

同年11月22日「新興作曲家の集ひ」と称し聯盟主催時事新報社後援で最初の公開音楽会が開かれた。昭和6年6月22日国民音楽協会主催音楽世界、音楽新潮、月刊楽譜後援で「新作曲家の夕」が行はれた。同7年11月18日。「新進作曲家の夕」と題して1時間の放送があり、以後本格的に放送され初めて『日本現代音楽』の時間に發展した。

昭和8年3月タンスマン来朝しその作品発表会や会員との会合は大きな刺激となつた。昭和8年4月音楽評論が発刊され、その9月号から11年4月号迄聯盟の機関誌となつた。この頃会員25名名譽会員7名客員4名。昭和9年1月実行委員制になつた。

同年9月チェレプニンの来朝あり、その後も2回来朝され、会員の作品の批評を受け、日露作品音楽会チェレプニン、エディシオン、チェレプニン賞の設定邦人作品の恐らく最初の海外紹介等其波紋は大きかつた。

『新興』といふ名称が当時流行的であり、また官の方面から面白からずといふことで同年12月4日『近代日本作曲家連盟』と改称した。

昭和10年5月14日東京音楽協会主催で第1回作品オーディションが行はれ、同11年6月7日第6回迄続き会員の作品が多く演奏されたが、以後協会自体の作品発表会をもつことになつた。

昭和10年9月更に『日本現代作曲家聯盟』と改称され、国際現代音楽協会日本支部となつた。協会の規約も大きく改良され、今日の基礎が築かれた。また正会員（作曲家）賛助員（演奏家評論家）と分れた。当時会員40名。昭和12年初めて委員長制となつた。

昭和12年5月ワインガルトナー来朝し、ワインガルトナー賞を設け、またケンブ、テイボーの来朝の折、会員の作品批評を受けた。

協会主催試演会（3回の外公開音楽会）は昭和11年12月9日より同15年5月3日、10日、24日の3回の協会10周年記念音楽会を含め、また日独交換演奏会を併せて戦前15回である。

昭和15年聯盟室内楽賞を設け平尾貴四男（絃楽四重奏）（故）尾崎宗吉（第三ヴァイオリンソナタ）におくつた。

昭和16年9月即ち大東亜戦争初まる前、日本音楽文化協会に一時解消したが21年2月1日今日の『日本現代音楽協会』として再出資した。会員も急激に増加し、荒廢と食糧難の中にありながら活潑な運動を初め、同年5月2回の作品発表会、更に22年より諸外国の現代音楽、邦人作品等7回、連続的に音楽会を開催し、25年1月毎日新聞社の後援で初めて外国の現代作品と国際現代音楽祭提出の邦人作品をもつてオーケストラと室内楽の『現代音楽祭』を行つた。24年11月機関紙として『現代音楽』を発刊したが3号雑誌として終つたのは残念だつた。

国際現代音楽祭には戦前2回入選したが、昭和25年以來毎年入選し、其外種々の機会に会員の作品が海外に紹介されることが頻繁になつた。

『国際現代音楽祭入選作』昭和12年外山道子（在パリー当時会員である。万葉集、古今集による歌曲）同14年小船幸次郎（絃楽四重奏）同25年箕作秋吉（芭蕉紀行集）同26年黛敏郎（スフェノグラム）同27年松平頼則（越天楽による主題と変奏）同28年諸井誠（フルーツのためのパルティータ）同29年松平頼則（催馬楽のメタモルフォーゼ。チエルポニー賞獲得）同30年諸井誠（アルファートとベーター）

その他種々の機会に会員の作品が海外に紹介されてきており、亦今後より頻繁になることと思ふ。たとへば、最近ではエリザベス・コンクールを始め、各国のコンクールや音楽祭、また知名の音楽家チエルプニン、ルネバトン、ブライロフスキー、ベルロイター、カラヤン、チエルカツスキー、ロリオ、クリール、又ロイヤル・フィルハーモニック等々や、米英仏ソ独伊等の各放送局でも放送された。

近時作曲界の隆盛にともないグループ活動が盛んになつてきたが、それに所属の作曲家はほとんど本会に入会しており、中核をなすものは発足当時より作曲家であるが、賛助の意味で多くの演奏家批評家を加はつた。思へば幾多の困難と危機をのりこへ、今年25周年を迎へたことを会員諸氏と共によろこび、其間の役員諸氏の労を多とし、併せて物故会員の霊をしのぶ次第である。不備の点を惧れるが、この小史によつて大体の経過を知つて戴ければ幸ひである。なを音楽会について日本放送協会を初め、ラヂオ東京、文化放送、ニッポン放送及び毎日新聞社、朝日新聞社、読売新聞社の御賛助、また25周年記念展について三越の御厚意に対して厚く御礼申上げる。

昭和30年12月

日本現代音楽協会 委員長 清瀬保二



会 員	石岩	見崎	綱肇	宗村	像上	敬治	作	谷寺	藤島	英尚	子彦	作
A 安芥雨	井 康	の 内	子 声	長 中	岡 沢	夫 俊	作	戸 富	田 山	邦 一	彦 雄	評
B 別宮	野 山	喜 久	作	中 中	村 野	郎 親	作	遠 外	山 山	道 雄	康 行	評
D 団	口 山	隆 清	作	中 中	野 瀬	和 次	作	外 塚	山 原	哲 晃	子 三	作
F 藤	井 野	重 利	評	中 中	田 田	直 子	作	露 U	木	晃 次	夫 弘	作
藤	康 野	方 保	作	奈 内	良 藤	孝 秀	作	内 W	田 田	久 鏡	彦 春	作
藤	野 山	幸 次	評	西 乘	宮 山	介 博	作	和 渡	田 田	和 昌	忠 二	作
古 二	井 野	誠 之	評	O 萩	松 野	次 弘	作	渡 Y	川 本	直 銀	子 久	作
H 灰	野 山	山 井	作	岡 岡	大 木	夫 子	作	山 山	根 川	壽 昌	夫 子	作
浜	井 野	定 多	評	大 大	村 野	子 雄	作	山 山	川 田	隆 文	昭	作
原	野 山	山 一	作	小 大	野 築	隆 子	作	安 横	田 田	雅 隆	子 昭	作
端	野 山	健 一	作	S 斎	本 本	亮 箭	作	吉 吉	山	文	子 昭	作
林	野 山	葉 平	作	坂 関	藤 水	郎 彌	作	湯				作
平	野 山	平 平	作	関 関	部 川	一 子	作					作
保	野 山	善 月	作	清 園	木 木	三 二	作					作
星	野 山	光 三	作	助 鈴	木 木	良 忠	作					作
I 市	野 山	秋 光	作	鈴 鈴	田 柳	三 二	作					作
伊	野 山	井 井	作	T 高	野	良	作					作
池	野 山	井 井	作	高 高			作					作
池	野 山	井 井	作	玉			作					作
石	野 山	井 井	作				作					作
石	野 山	井 井	作				作					作
伊	野 山	井 井	作				作					作
伊	野 山	井 井	作				作					作

(アルファベット順)

略号	曲
作 P	ア ノ
Vn	ヴァイオリ
Cl	ネット
Fg	ゴット
声	声
評	評

**物 故 会 員** (年次順) (作は作曲家、演は演奏家、評は評論家)

近藤 柏次郎 (演作)	関 清武 (評)	須賀田 磯太郎 (作)
塩入 龜輔 (評)	大 脇 礼三 (評)	橋 本 国彦 (作)
富樫 篤三 (作)	中 根 宏 (評)	尾 高 尙忠 (作演)
尾崎 宗吉 (作)	唐 端 勝 (評)	小 松 平五郎 (作)
太田 太郎 (評)	飯 田 忠純 (評)	大 沢 寿人 (作)
太田 綾子 (演)	鈴 木 二三雄 (作演)	平 尾 貴四男 (作)
喜安 三郎 (演)	照 井 詠三 (演)	中 村 道之助 (作)
貴志 健一 (作演)	長 村 金二 (作)	早 坂 文雄 (作)

**役 員**

昭和7年 幹事 新興作曲家聯盟時代 眞作 秋吉 (故)橋本 国彦 (故)塩入 龜輔	大木 正夫、松平 頼則 書記 石田一郎、(故)長村金二、(故)尾崎宗吉
同9年1月実行委員 新興作曲家聯盟 近代の日本作曲家時代 (昭和9年12月4日改称) 眞作 秋吉、小根 清、諸井 三郎、内海誓一郎、 山本 直忠、山根 銀二、書記 伊藤 宜二	同13年度 再選 國際書記 池内友次郎
昭和10年度委員(9月) 日本現代作曲家聯盟時代 諸井 三郎、眞作 秋吉 (公務のため中途辞任) 大木 正夫、次点 清瀬 保二 (諸井氏ベルリンオリ ンピックに出席のため委員となる) 書記 伊藤 宜二	同14年度 再選 中途にて諸井氏辞任、平尾貴四男氏 委員となる以下日本現代音楽協会。会員の激増にと もない、委員数も多くなったので以下省略する
同11年度 委員 清瀬 保二、大木 正夫、諸井 三郎、池内友次郎	昭和21年度 委員長 眞作 秋吉 (國際書記をかねる) 同22年度 同 池内友次郎 (國際書記をかねる) 同23年度 同 平尾貴四男 書記長 眞作 秋吉 同24年度 委員長 清瀬 保二 書記長 眞作 秋吉
同12年度 委員長 清瀬保二(初めて委員長制度となる) 委員 諸井 三郎、池内友次郎、	同25年度 再選 同26年度 再選 同27年度 再選 同28年度 委員長 再選 書記長 松平 頼則 同29年度 再選

6th December 1955

— PROGRAMME —

1. Yoshio Tamano ..... String Quartet (1955) \* NIPPON STRING QUARTET  
Moderato  
Andante  
Allegro
2. a). Takeshi Hoshino ..... "Charm by the Water" (1955) \* Poem by Takuji Ohte  
1. White Flame Soprano Hiroko Ikeda  
2. The Bell leans on me Piano Mihoko Naitoh
- b). Naotada Yamamoto..... The seven "Tankas" (1953) \* Poem by Takeo Arishima  
(written on the eve his death) Soprano Takako Kurimoto  
piano Naotada Yamamoto
1. The quiet autumn 4. Intensive love  
2. Love's torment 5. Whip me to death  
3. Occur to blooming hydrangea
3. Akihiro Tsukatani..... Sonatine for Piano (1955) Piano Yohko Nara  
Allegro moderato  
Andante (Pastoral)  
Allegro assai
4. Takako Yoshida ..... Sonata for Violin and Piano in Re Violin Kyoko Suzuki  
(1952) \*  
Moderato, quasi andante *con moto* Piano Junko Mihashi  
Lento doloroso  
Vivo, pastorécio
5. Kishiroh Hirao..... Quintet for Flute, Oboe, Clarinet, Bassoon and Horn  
Andante THE TOKYO WIND  
Alegro INSTRUMENTS SOCIETY  
Presto
6. André Jolivet ..... 6 Pièces pour Piano "Mana" (1935) Piano Reiko Torii  
(France) 1. Beaujolais 4. La Chèvre  
2. L' Oiseau 5. La Vache  
3. La Princesse de Bali 6. Pégase
7. Lauri Saikkola..... Divertimento op. 27 (1935) \* THE TOKYO WIND  
(Finland) (Per Flauto, Oboe, Clarinetto, INSTRUMENTS SOCIETY  
Corno e Fagotto)  
1. Preludio — Molto moderato  
2. Pastorale — Poco rubato  
3. Polca — Tempo di Polca moderato  
4. Continua — Lento (non troppo)  
5. Coda — Allegro  
( \* The first performance in Japan)

— MEMBERS —

NIPPON STRING QUARTET  
1st Violin Fujio Abe  
2nd Violin Kazuyoshi Nakatsuka  
Viola Hideyashu Shimada  
Cello Nichio Miki

THE TOKYO WIND INSTRUMENTS SOCIETY  
Flute Ririko Hayashi  
Oboe Seizoh Suzuki  
Clarinet Risei Kitazume  
Bassoon Kazutsugu Nakada  
Bassoon Muneo Tozawa  
Horn Motoasa Oku  
Horn Kaoru Chiba



1955年12月6日

— プログラム —

1. 玉野良雄 弦楽四重奏曲(1955年)\* 日本弦楽四重奏団  
モデラート  
アンダンテ  
アレグロ
2. a) 星野 健 歌曲「みづのほとりの姿」(1955年)\* 大手拓次 詩  
1. 白い火の姿 メツォ・ソプラノ独唱 池田 弘子  
2. よりかかる鐘の音 ピアノ伴奏 内藤三保子
- b) 山本直忠 「五つの短歌」有島武郎最後の歌\* メツォ・ソプラノ独唱 栗木 尊子  
(歿後その書齋にて発見されたもの) ピアノ伴奏 山本直忠  
—1953年4月 伯父武郎の霊に捧ぐ—  
1. 蟬一つ 2. 世の常の 3. 明日知らぬ  
4. 雲に入る 5. 命絶つ
3. 塚谷晃弘 ピアノの為のソナチネ(1955年) ピアノ独奏 奈良洋子  
アレグロ・モデラート  
アンダンテ(パストラル)  
アレグロ・アッサイ
4. 吉田隆子 ヴァイオリンとピアノの為の奏鳴曲ニ調(1952)\* ヴァイオリン 鈴木共子  
モデラート、クワジ・アンダンテ・コン・モト ピアノ 三橋 絢子  
レント・ドロロソ  
ヴィヴァ、パストレエッシオ
5. 平尾貴四郎(故) フルート、オーボエ、クラリネット、フラゴット 東京管楽器協会  
とホルンの為の五重奏曲  
アンダンテ  
アレグロ  
プレスト
6. アンドレエ・ジョリヴェ (フランス) ピアノの為の六つの小品「マナ」(1935年) ピアノ独奏 鳥井 玲子  
1. ボージュレー 4. 牝山羊  
2. 鳥 5. 牝牛  
3. バーリーの王女 6. 天馬
7. ラウリ・サイユラ (フィンランド) 喜遊曲作品 27 (1935年)\* 東京管楽器協会  
(フルート、オーボエ、クラリネット、ホルンと  
フラゴットの為の)  
1. プレリユード—モルト・モデラート  
2. パストラル—ポコ・ルバート  
3. ポルカ—テンポ・デ・ポルカ・モデラート  
4. コンティス アーレント(ノン・トロツポ)  
5. コーダー—アレグロ

( \* 本 邦 初 演 )

— メ ン バ ー —

日本弦楽四重奏団

第1 ヴァイオリン 阿部 富士夫  
第2 ヴァイオリン 中 塚 和 良  
ヴィオラ 嶋 田 英 康  
チェロ 三 鬼 日 雄

東京管楽器協会

フルー ト 林 利 子  
オーボエ 鈴木 清 三  
クラリネット 北 爪 利 世  
フラゴット 中 田 一 次  
フアゴット 戸 沢 宗 雄  
ホルン 奥 元 朝  
ホルン 千 葉 馨

12th December 1955

— PROGRAMME —

1. Hideko Tanifuji ..... 10 Preludes to "Issa's Hokku Verses" Piano Masako Arai  
(1955) \*  
1. Colza flowers away in the distance haze.  
2. Children in the thaw of snow.  
3. A deliberate frog against the mountain.  
4. A kitten romping with a leaf.  
5. The clouds reflected in the lake.  
6. Resist stoutly, thou emaciated flog.  
7. Elegy to a life as evanescent as the dew.  
8. Poor "Issa" in the life in slums.  
9. Freezed bell sound at the gate.  
10. Lullaby to a sparrow orphan.
2. Kohmei Hayama ..... Duetto for Oboe and Viola (1955) \* Oboe Seizoh Suzuki  
"Dedicated to Prof. Ikenouchi"  
Moderato Viola Shuntatsu Kohno  
Scherzo — Allegro molto  
Lento assai  
Rondo Allegro
3. Yoriaki Matsudaira ..... Piano Quintet (1955) \* Piano Yuzo Toyama  
Allegro PROMUSICA STRING QUARTET  
Lento  
Vivace
4. a). Zoltán Kodály ..... "Peafowl" (1939) TOKYO MÄNNER CHOR  
(Hungary) Conductor Kan Ishii  
b). Béla Bartók ..... "4 Old Hungarian folk-Songs" Piano Fusako Miwa  
(Hungary)  
c). Kan Ishii ..... "The Song of a Faded Tree and the Sun" (1955)
5. Shukichi Mitsukuri ..... Piano Quintet (1955) Piano Yohko Ichihashi  
"On the themes of Japanese PROMUSICA STRING QUARTET  
folk-Songs"  
I In classic—sonata-form  
with one principal theme  
II Variations  
III Rondo
6. Alan Rawsthorne ..... Sonatine for Piano (1949) \* Piano Yohko Ichihashi  
(England) Allegro sostenuto e misterioso  
Lento ma con movimento  
Allegretto con malinconia  
Allegro con brio
7. Roy Harris ..... Piano Quintet (1940) \* Piano Atsuko Ohhori  
(America) Passacaglia PROMUSICA STRING QUARTET  
Cadenza—Molto tenuto sonore  
Fugue—Con moto

( \* The first performance in Japan )

— MEMBERS —

PROMUSICA STRING QUARTET

1st Violin Ryutaroh Iwabuchi  
2nd Violin Tomoko Takeuchi  
Viola Yukio Kobashi  
Cello Shuya Matushita

1955年12月12日

— プ ロ グ ラ ム —

1. 谷 藤 英 子 ピアノの為の前奏曲集 (1955年)\* ピアノ独奏 新居正子  
「一茶に寄せる前奏曲集」  
1. 葉の花や 霞の裾に少しづつ 6. やせ蛙 負けるな一茶これにあり  
2. 雪とけて 村一つばい子供かな 7. 露の世は つゆの世ながらさりながら  
3. 悠然として 山を見る蛙かな 8. 合点して いつも寒いぞ貧しいぞ  
4. ネコの子の ちよいと押へる木の葉かな 9. 門口に来て 凍るなら三井の鐘  
5. 静かさや 湖水の底の雲の峰 10. 我と来て 遊べや親のない雀
2. 端 山 貢 明 オーボエとヴィオラの為の二重奏曲(1955年)\* オーボエ 鈴木清三  
「池内友次郎先生に捧ぐ」 ヴィオラ 河野俊達  
モデラート  
スケルツォ—アレグロ・モルト  
レント・アッサイ  
ロンド・アレグロ
3. 松 平 頼 暁 ピアノ五重奏曲 (1955年)\* ピアノ 外山雄三  
アレグロ プロムジカ弦楽四重奏団  
レント  
ヴィヴァーチェ
4. a ズルダン・コダーイ 合唱曲「孔雀」(1939年) 東京男声合唱団  
(ハンガリー) 指揮 石井 敏  
b ベラ・バルトーク 合唱曲「四つの古いハンガリア民謡」 ピアノ伴奏 三輪 房子  
(ハンガリー)  
c 石 井 敏 合唱曲「枯木と太陽の歌」(1955年)(中曾根純治詩)
5. 箕 作 秋 吉 ピアノ五重奏曲 作品31 (1955年) ピアノ 市橋陽子  
—日本民謡を主題とする— プロムジカ弦楽四重奏団  
I 単一主要主題の古典ソナタ形式による  
II 変奏曲  
III ロンド
6. アラン・ローソーン ピアノの為のソナチネ(1949年)\* ピアノ独奏 市橋陽子  
(イギリス) アレグロ・ソステヌート・エ・ミステリオーズ  
レント・マ・コン・モーヴィメント  
アレグレット・コン・マリソニア  
アレグロ・コン・ブリオ
7. ロイ・ハリス ピアノ五重奏曲(1940年)\* ピアノ 大堀敦子  
(アメリカ) パッサカリア プロムジカ弦楽四重奏団  
カデンツァ—モルト・テニユート・ソノレ  
フーガー—コン・モト

(\* 本 邦 初 演)

— メ ン バ ー —

プロムジカ弦楽四重奏団

第1 ヴァイオリン 岩淵 龍太郎  
第2 ヴァイオリン 武内 智子  
ヴィオラ 小橋 行雄  
チエロ 松下 修也

17th December 1955

— PROGRAMME —

- |                          |   |                                     |
|--------------------------|---|-------------------------------------|
| 1. Yutaka Makino .....   | String Quartet (1955) *   | RAMEAU STRINQ QUARTET               |
|                          | Andante cantabile   |                                     |
|                          | Presto  |                                     |
| 2. Matti Rautio.....     | Suite for Piano (1951) *  | Piano Keiko Kanazawa                |
| (Finland)                | Prelude (Hommage à Carl Czerny)                                 |                                     |
|                          | Intermezzo I (Vanhaan hyvaan aikaan. Au bon Vieux tempo)        |                                     |
|                          | Ostinato ritomico   |                                     |
|                          | Intermezzo II   |                                     |
|                          | Toccata   |                                     |
| 3. Akira Miyoshi .....   | Sonata for Violin and Piano                                     | Violin Ryutaroh Iwabuchi            |
|                          | Modéré  | Piano Yuzoh Toyama                  |
|                          | Andante   |                                     |
|                          | Modérément vif  |                                     |
| 4. Fumio Hayasaka.....   | Capriccio for Flue, Oboe,<br>Clarinet, Bassoon and Piano (1949) | THE RAMEAU CHAMBER<br>MUSIC SOCIETY |
|                          | Allegro   |                                     |
|                          | Adagio quasi una fantagia                                       |                                     |
|                          | Allegro   |                                     |
| 5. Yasuji Kiyose .....   | Piano Trio No. 2 (1955) *                                       | Piano Hikaru Hayashi                |
|                          | Moderato  | Violin Ryutaroh Iwabuchi            |
|                          | Andante quasi recitativo—allegro                                | Cello Shuya Matsushita              |
|                          | non troppo—moderato   |                                     |
|                          | Allegro non troppo  |                                     |
| 6. Mario Peragallo ..... | Fantasia for Piano *  | Piano Yohko Ohhori                  |
| (Italy)                  |   |                                     |
| 7. Dimitri Dimitrievitch |   | Piano Kazuko Yasukawa               |
| Schostakovitch.....      | Piano Quintet Op. 57 (1940)                                     | PROMUSICA STRING QUARTET            |
| (Soviet)                 | Prelude...Lento—poco piu moss—Lento                             |                                     |
|                          | Fugue...Adagio  |                                     |
|                          | Scherzo...Allegretto  |                                     |
|                          | Intermezzo...Lento  |                                     |
|                          | Finale...Allegretto   |                                     |

( \* The first performance in Japan )

— MEMBERS —

RAMEAU STRING QUARTET

1st Violin	Yukiko Kuwazawa
2nd Violin	Jun Itabashi
Viola	Kimiyo Matsuura
Cello	Toshio Kuronuma

THE RAMEAU CHAMBER MUSIC SOCIETY

Fluto	Masaharu Kaga
Oboe	Seizoh Suzuki
Clarinet	Kiyoh Shibata
Bassoon	Muneo Tozawa
Piano	Takeshi Takezawa



1955年12月17日

— プ ロ グ ラ ム —

- |    |                              |   |                                     |
|----|------------------------------|---|-------------------------------------|
| 1. | 牧野山多可                        | 弦楽四重奏曲 (1955年)*   | ラモール弦楽四重奏団                          |
|    |                              | アンダンテ・カンタービレ<br>プレスト  |                                     |
| 2. | マッティ・ラウティオ<br>(フィンランド)       | ピアノ組曲 (1951年)*  | ピアノ独奏 金沢桂子                          |
|    |                              | プレリユード「カール・チエルニィ頌」<br>インテルメッツォ I 「よき時代に」<br>オスティナート・リトミコ<br>インテルメッツォ II<br>トゥカータ          |                                     |
| 3. | 三善晃                          | ヴァイオリンとピアノの為の奏鳴曲  | ヴァイオリン 岩淵龍太郎<br>ピアノ 外山雄三            |
|    |                              | モデレ<br>アンダンテ<br>モデレマン・ヴィフ   |                                     |
| 4. | 早坂文雄(故)                      | ピアノと木管の為の綺想曲 (1949年)  | ラモール室内楽団                            |
|    |                              | アレグロ<br>アダージョ・クワジィ・ウナ・ファンタジア<br>アレグロ  |                                     |
| 5. | 清瀬保二                         | ピアノ三重奏曲 第2番 (1955年)*  | ピアノ 林 光<br>ヴァイオリン 岩淵龍太郎<br>チェロ 松下修也 |
|    |                              | モデラート<br>アンダンテ・クワジィ・レチタティーヴォ<br>アレグロ・ノン・トロッポ—モデラート<br>アレグロ・ノントロッポ                         |                                     |
| 6. | マリオ・ペラガルロ<br>(イタリー)          | ピアノの為のファンタジア*   | ピアノ独奏 大堀洋子                          |
| 7. | D. D. ショスタコーヴィッチ<br>(ソヴィエツト) | ピアノ五重奏曲 作品57 (1940年)  | ピアノ 安川加寿子<br>フロムジカ弦楽四重奏団            |
|    |                              | プレリユード<br>…レント—ボコ・ピウ・モツソーレント<br>フーガ…アダージョ<br>スケルツォ…アレグレット<br>インテルメッツォ…レント<br>フィナーレ…アレグレット |                                     |
|    |                              | ( * 本邦初演 )  |                                     |

— メ ン バ —

ラモール弦楽四重奏団

第1	ヴァイオリン	桑 沢 雪 子
第2	〃	板 橋 順 代
ヴ ィ オ	ラ	松 浦 君 代
チ エ ロ	黒	沼 沼 俊 夫

ラモール室内楽団

フ リ ュ ー ト	加 賀 正 治
オ ー ボ エ	木 田 清 三
ク ラ リ ネ ッ ト	柴 田 清 宗
フ ァ ゴ ッ ト	戸 沢 雄 武
ピ ア ノ	武 沢 雄 武

祝 現代音楽協會25周年

ラジオは **JOKR** 950KC 50KW KRT

テレビも **JOKR-TV** 第6チャンネル

おとて皆様の 娯楽雑誌は **朝日ラジオ東京** 毎月1日・11日・21日発売 20円 ラジオ東京 発行

**ラジオ東京**

**JOQR**

1130 KC



美しい音質・・・  
楽しい番組・・・  
あなたの

**文化放送**

音楽出版界に打ち立てた一大金字塔!

**世界大音楽全集**

予約募集中

詳細内容見本呈

聲楽篇 30 器楽篇 50

全 80 卷

音楽之友社

東京都千代田区神田鍛冶町

推薦のこばと 清瀬保二 今度音楽之社から『世界大音楽全集』が二年有余の日を費やして出版されるという。大変うれしいことは「日本ピアノ名曲集」が加えられていることである。声楽篇の中にも「日本歌曲集」「日本合唱曲集」が入っている。「日本ピアノ名曲集」とか「日本合唱曲集」等がこうした全集に入るとは、かつてなかつたことだと思う。音楽専門家は勿論、広く一般音楽愛好家に、この全集をおすすめする次第である。

週 刊

**音 樂 新 聞**

現音と共に25年の歴史をもつ音楽舞踊専門新聞

**コンサート新聞**  
CONCERT NEWS

◎ 見本呈す

ハガキで御申込み下さい

株式会社 **コンサート新聞社**

取締役社長 清瀬保二

千代田区 神田鍛冶町 2 の 12 (近藤ビル)



# 今評判の……

## 多泡性歯磨 **パール** は



これまでの $\frac{1}{2}$ の量で足りま  
すから非常に経済的です

- 優れた真珠貝の成分パール  
カルクの美白作用によつて歯  
を白く美しくします
- 新強力殺菌剤6 N G Naが  
配合されていますから  
清浄作用も極めて強い



## 資生堂

# パール 歯磨

30円・50円・100円・150円

使いよく  
ながもちする

資生堂歯刷子

ナイロン製 100円  
露毛製 50円~100円

# YAMAHA PIANO

浜松を訪れたことは私にとつて生涯忘れられない思い出になるでしょう。此処日本楽器の工場を目に触れ耳にしたすべてのものは、人々が完全無比なピアノをつくるために不断の努力を続けていることであり、山葉コンサートピアノがそのあらわれであることを私に確信させます。

1954 W. KEMPF

ヤマハピアノ

アップライト：195,000円より  
グランド：380,000円より



**日本楽器**

東京支店 銀座7 TEL. (57) 5691